

【資料2】

経済建設委員会 資料
令和元年12月16日提出

旧簡易水道事業（現：水道事業）に 関する今後の方向性について

令和元年8月26日

飯塚市企業局

1. 高田浄水場の概要

1-1. 設置に至る経緯

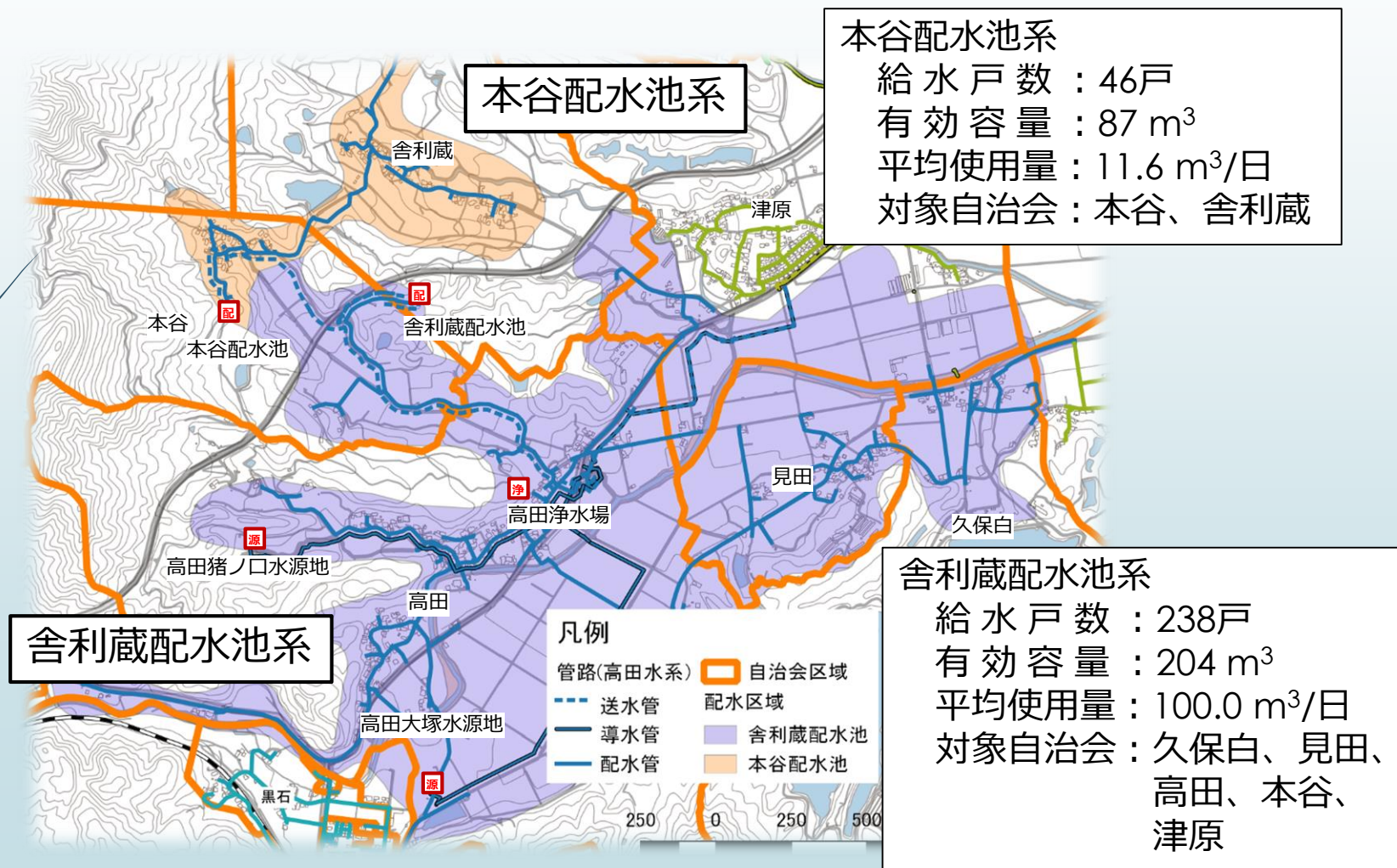
以前より井戸水により生活用水を賄っていた地域であったが、住民からの水道布設の要望により、旧穂波町時代に浄水場建設を計画。合併前に建設工事に着工し、合併後の平成19年度に給水開始となる。

1-2. 施設概要

給水開始年度	平成19年度
対象（給水）世帯数	284世帯（平成30年度）
処理能力	300 m ³ /日
建設費用	6億円
（うち浄水場関係）	（4億円）

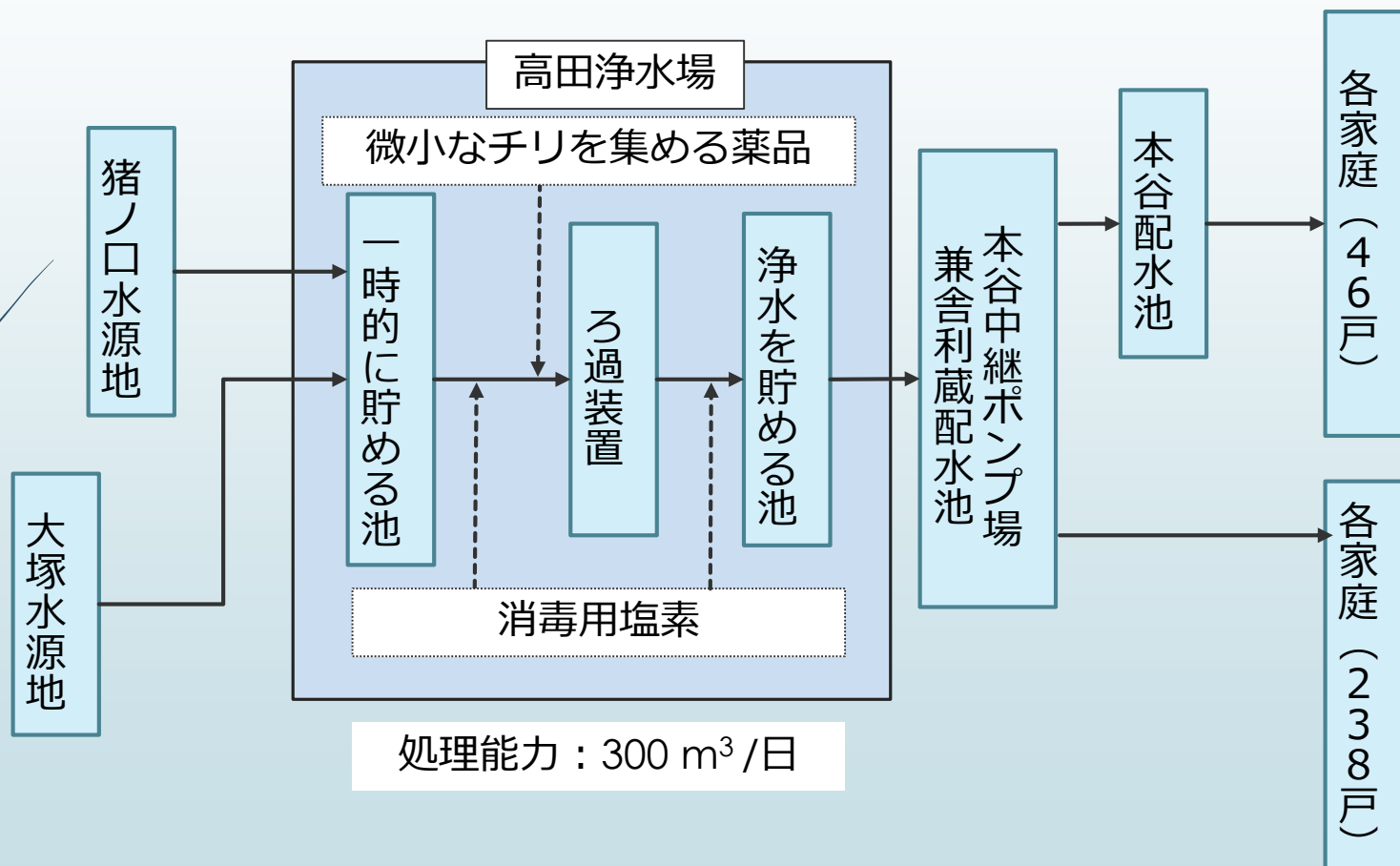
1. 高田浄水場の概要

1-3. 高田水系全体図



1. 高田浄水場の概要

1-4. 浄水処理の流れ



1. 高田浄水場の概要

1 - 5. 現在の使用状況等

(平成31年3月末現在)

給水世帯 (つないでいる世帯)	284 世帯
使用世帯数 (使用水量1m ³ /月以上)	193 世帯
浄水能力	300 m ³ /日
平均使用水量	111.6 m ³ /日

※各数値には小学校や高齢者施設等も含む。

1. 高田浄水場の概要

1 - 6. 収支の状況

簡易水道事業 ←

→ 水道事業

(単位：万円)

年度		H19	H20	H21	H22	H23	H24	
水道事業	高田水系	収入	1,799	2,007	2,002	2,016	1,244	1,292
		支出	2,727	3,217	3,237	4,473	3,087	3,040
		差引	▲929	▲1,210	▲1,235	▲2,457	▲1,843	▲1,748
	全体の損益	▲3,037	1,125	4,775	8,162	8,373	2,246	

年度		H25	H26	H27	H28	H29	累計	
水道事業	高田水系	収入	1,303	1,310	1,333	1,246	1,280	16,832
		支出	3,242	3,221	3,167	3,110	3,061	35,582
		差引	▲1,940	▲1,911	▲1,834	▲1,864	▲1,781	▲18,752
	全体の損益	▲1,553	16,164	18,008	13,924	3,939	—	

2. 課題と今後の方向性

2-1. 現在抱えている問題・課題

- ・現状では採算が見込めない施設であること
 - ⇒ これまでは水道事業全体が黒字
 - ⇒ 水道事業全体の純利益が減少
- ・（将来）施設の更新が必要であること
 - ⇒ 老朽化により施設の更新費用の捻出が必要

そのままでは事業継続は困難

2. 課題と今後の方向性

2-2. 今後の方針・方向性

- ・ 高田浄水場（浄水機能）の休止
⇒ 環境の変化に応じて浄水場として復旧可
- ・ 他浄水場からの給水へ切替
⇒ 現高田浄水場はポンプ場施設へ機能変更

2. 課題と今後の方向性

2-3. 切替による変更の有無

【変更がない点】

- ・ 水道料金
- ・ 配水池や消火栓、防火水槽の位置

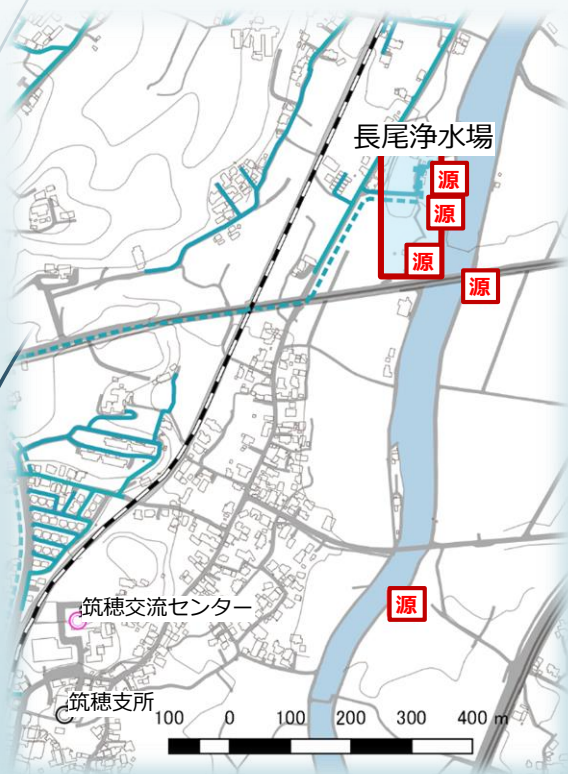
【変更がある点】

- ・ 浄水場、水源
(候補地：長尾浄水場)
- ・ 高田浄水場での使用施設

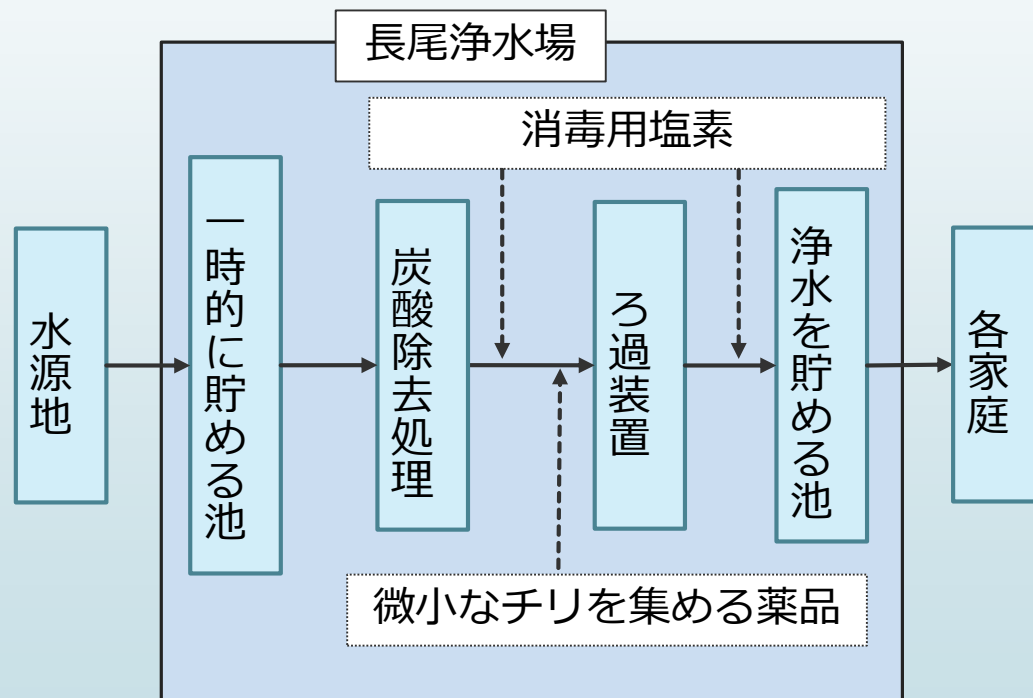
2. 課題と今後の方向性

2-4. 切替先の浄水場（長尾浄水場）

浄水場、水源の場所



浄水処理の流れ



処理能力：2,660 m³/日

2. 課題と今後の方向性

2-5. 切替先の水質

(単位 : mg/L)

項目	基準の説明	年平均値	水質の状況
残留塩素	塩素の におい	水質基準	0.1 あまり感じない ← においを 1.0 感じる
		高田 0.4	
		長尾 0.4	
硬度	低いほど くせがない	水質基準	0 くせがない ← くせを感じる 300
		高田 94	
		長尾 60	
有機物	多ければ 渋みを感じる	水質基準	0 渋みがない ← 渋みを感じる 3
		高田 0.2	
		長尾 0.4	

2. 課題と今後の方向性

2-5. 切替による収支の改善

【収益的収支：運転管理に係るもの】

- ・ 動力費、薬剤費の減 120万円/年

【資本的収支：資産の管理に係るもの】

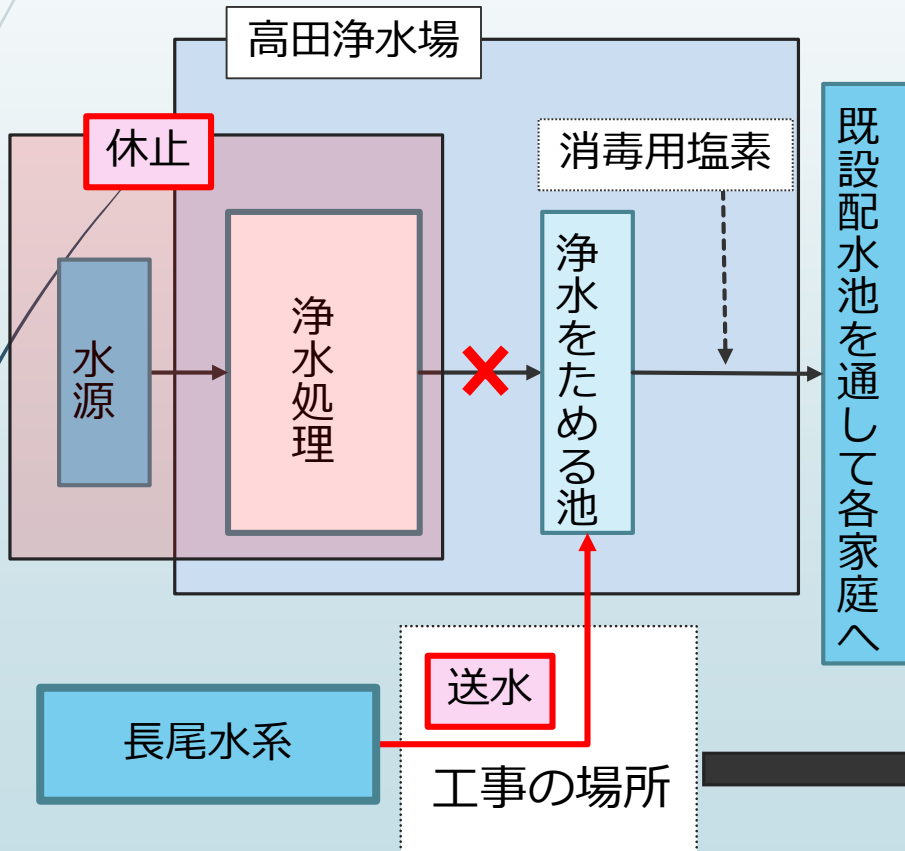
- ・ 施設、設備の更新費用の減
(今後10年間) 1億9,213万円

10年間で係る費用：2億400万円 削減
浄水場の更新までに係る費用：11億3,500万円 削減

3. 切替工事について

3-1. 切替工事の概要

工事の概要



3. 切替工事について

3-2. 工事のスケジュール (案)

